第3講・国家の歩みと東アジア

律令（りつりょう）国家への歩み

ポイント1 天皇中心の国づくり

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

① 東アジアの状況

時期	できごと
6世紀末～	**隋（ずい）**が中国を統一 **律令（りつりょう）**という法律を定め，人々を戸籍（こせき）に登録
7世紀前半～	**隋**がほろび，**唐（とう）**が建国される **唐**は律令の整備を進め，大帝国をつくる 倭（日本）は**唐**から制度・文化を学ぶために**遣唐使（けんとうし）**を送る
7世紀半ば～	**唐**が高句麗（こうくり）を攻撃 新羅（しらぎ／しんら）・百済（くだら／ひゃくさい）・日本で緊張が高まる

② 645年～ **大化の改新（たいかのかいしん）**

東アジアの緊張の高まりを受け，国力をまとめる必要が出てくる

朝廷（ちょうてい）では蘇我氏（そがし）による独断的（どくだんてき）な政治が行われる

↓

勝利 **中大兄皇子（なかのおおえのおうじ）** VS 蘇我氏
中臣鎌足（なかとみのかまたり）
（後の藤原鎌足（ふじわらのかまたり））

↓

大化の改新と呼ばれる政治改革を進めて大王（天皇）に権力を集中させる

公地・公民：各地の豪族が支配していた土地や人々（私地・私民）を朝廷が直接支配する

③ **663年**　**白村江（はくすきのえ／はくそんこう）の戦い**

朝鮮半島で唐・新羅が手を結び，勢力を広げる

↓

勝利 唐・新羅　VS　旧百済・日本の援軍

↓

朝廷は侵攻に備え守りを強化（大宰府・水城・山城）

初めて戸籍を作り国内の整備を進める

④ **672年**　**壬申（じんしん）の乱**

天智（てんじ）天皇（中大兄皇子）のあとつぎ争い

↓

勝利 **大海人皇子（おおあまのおうじ）**（弟）　VS　大友（おおとも）皇子（子）

↓

勝利した **大海人皇子** が **天武（てんむ）天皇** として即位

天皇を中心とする強い国を目指す

⑤ **694年**　**藤原京（ふじわらきょう）**

初の本格的な都

持統（じとう）天皇の時代に完成（天武天皇の妻）

ポイント 2　律令国家の始まり

_____にあてはまる語句を確認しましょう。

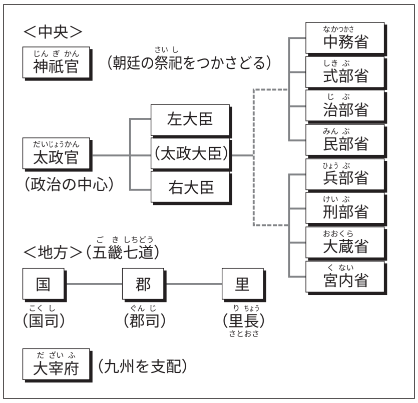
律令国家 の成立

朝廷 を中心とした中央集権（ちゅうおうしゅうけん）の仕組みをつくるために法律を整備

↓

701年　**大宝律令（たいほうりつりょう）** を制定

資料1 律令国家の仕組み



確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 7世紀に百済を助けるために日本が朝鮮半島に軍隊を送り，唐と新羅の連合軍と戦って敗れた戦いを何というか。 ＿＿＿＿＿＿

白村江の戦い

(2) 7世紀後半に起きた，天智天皇のあとつぎ争いを何というか。 ＿＿＿＿＿＿

壬申の乱

(3) 壬申の乱に勝利した大海人皇子は即位して何という天皇になったか。 ＿＿＿＿＿＿

天武天皇

(4) 701年に定められた，全国を支配するための決まりを何というか。 ＿＿＿＿＿＿

大宝律令